

春の太田市長選挙、現職の清水市長を推薦決定 職場委員の賛成多数を得て /



▲職場委員会の様子

1.22 第2回職場委員会 2025 春闘は重点要求事項 4 項目に限定

1月22日(水)昼休み、太田市役所南庁舎3階の大研修室において「太田市職労第2回職場委員会」が開催されました。当日は、執行部26名、職場委員39名が参集しました。

冒頭の挨拶で小林委員長は、昨秋の2024賃金確定闘争の結果について言及しました。人事院勧告に基づく賃上げや子の看護休暇の取得事由範囲拡大を勝ち取った一方で、太田市独自の要求はすべて実現できなかつたと振り返りました。今後は、独自の要求を勝ち取るために引き続き努力していきたいと意気込みを語りました。

議案審議では、議案(2)「市長選挙の推薦決定について」、本春に予定されている太田市長選挙に関し、出馬表明をした

現職の清水市長を推薦することについての承認採決が行われました。結果は賛成多数で、清水市長を推薦することが決定しました。

また、議案(3)「春季闘争要求書(案)について」では、本春に予定されている2025春闘の要求書について審議が行われ、同じく賛成多数で内容が承認されました。要求事項について執行部は方針を説明。2024秋季闘争要求から間をおかずに実施されることや要求勝ち取りにつなげるため、重点要求項目の4項目に限定した、極めてコンパクトなものとなっています。

議決事項



- (1) 秋季闘争要求書の回答について … (報告のみ)
- (2) 市長選挙の推薦決定について … 賛成多数で承認
- (3) 春季闘争要求書(案)について … 賛成多数で承認

— 今後の予定 —

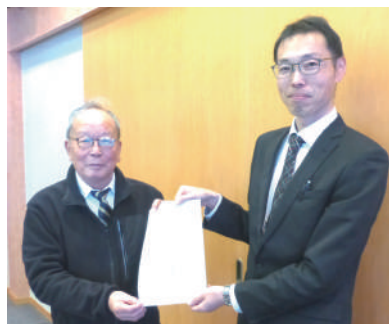


- 2月20日【自治労】第123回中央委員会
- 2月26日【市職労】第10回六役会議
- 3月10日【市職労】第11回六役会議
- 3月14日【市職労】第6回執行委員会

活動報告

清水市長会長、55歳昇給停止の見直しに理解 定年延長の実情踏まえ

2.6 2025 春闘期市長会要請 春闘見据え要請書提出



▲清水会長へ原田議長から要請書を提出

自治労県本部都市評議会は2月6日(木)、太田市役所にて市長会長に対し「2025春闘期市長会長要請」を行いました。当日は都市評四役・幹事のほか、太田市職労より小林委員長あわせて10名が参加しました。

主な要請内容は、中高年齢層の賃金・労働条件の改善、55歳以降の昇給抑制の見直し、勤務時間の適正化、中途採用者の賃金改善、地域手当の独自措置などです。市長会長でもある清水市長は、賃金改善や休暇制度の整備に一定の理解を示したほか、特に55歳昇給停止については定年が65歳まで延長されている実情を踏まえ延伸に肯定的な姿勢を示しました。自治労側は、労使交渉の重要性を強調し、物価高騰や人員不足による労働環境の悪化に対し、具体的な改善を求めました。(『自治労ぐんま速報193号』をもとに作成)